

平成25年度第7回宮前区区民会議

平成25年度 第7回 宮前区区民会議

1 日 時 平成25年11月20日（水）午後6時15分

2 場 所 宮前区役所 大会議室

3 出席者

(1)委 員 直本委員長、宮崎副委員長、黒沢副委員長、平井委員、田浪委員、豊島委員、大槻委員、岡委員、佐々木委員、山下委員、藤田委員、福田委員、森山委員、佐藤委員、本郷委員、太田委員、芒崎委員

(2)参 与 添田参与、竹田参与、石川参与

(3)事務局

4 議 事

①各部会の区民会議提案書（案）について報告

②提案書に関して質疑応答・情報交換

③区民会議フォーラムについて

5 傍聴者数 7人

午後6時15分開会

司会（日下部） どうも皆さんこんばんは。宮前区区民会議に御出席いただきましてありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまから区民会議を開催させていただきたいと存じます。

本日の司会進行を務めます宮前区役所副区長の日下部でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、まず、冒頭ですが、会議の開催に先立ちまして事務連絡をさせていただきます。本日の会議開催に当たりましては、この会議は川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づきまして公開とさせていただいております。したがって、傍聴、報道機関等の取材許可をいたしておりますので、御了承いただきたいと思います。

また、会議録の作成に当たりまして速記者に同席をいただいておりますので、発言の際にはマイクを通していただくということで、よろしくお願いいたします。

本日発言のございました方々につきましては、後日議事録の確認をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。なお、確認後の議事録につきましては区役所ホームページに掲載させていただきます。

また、傍聴の方々につきましては遵守事項をお守りいただき、本日の会議に関する

アンケートへの御回答をいただきたいと思います。

次に、本日の委員、参与の出欠状況等でございます。区民会議の委員につきましては大村委員、白井委員にあらかじめ欠席ということで御連絡をいただいております。参与につきましては、あらかじめ石田参与、矢澤参与、飯田参与、土居参与、持田参与から御欠席ということで事前に御連絡をいただいております。

続いて、議事に先立ちまして宮前区長の石澤から一言御挨拶を述べさせていただきます。

区長 改めまして、皆さんこんばんは。宮前区長の石澤でございます。本日はお忙しい中、第4期の区民会議第7回全体会議に御出席をいただきまして、まことにありがとうございます。

前は8月5日だったと思うんですけども、全体会議以降、両部会で委員の皆様には精力的な討議を積み重ねていただきまして、その成果が本日配付された資料に反映されていると思います。大変御苦労さまでございます。

私は事前にお手元の資料を拝見いたしまして、先ほど申し上げました8月5日の、そのときは議論ペーパーという形で資料が配付をされています。今回は審議概要という形で資料がそれぞれ部会ごとに整理をされておりまして、その8月5日の資料と比較をしながら、ああ、こんな点に変化があったんだな、議論が深まったんだな、そういったことを少し確認させていただいたところです。

ちょっと触れさせていただきますと、前回の議論ペーパーの構成が、大きく分けると3つに分けられるのかな。皆さんのお手元には多分ないと思うんですけども、まず1つは、左から「現状と課題」、そして真ん中に「課題解決提案の方向性・イメージ」、この時点ではまだ方向性とイメージという形だったんですね。そして一番右側に「課題解決提案の内容・手法」、そういった形で整理されておりました。本日、資料1で用意されたものを見ますと、大きく言うと、この審議概要では一番左に「背景」が来て、真ん中にもう「課題整理」、そして右側に「課題解決の提案」。非常に整理をされてコンパクトにまとまってきている。そのようにまずは感じました。

中身については大きく2点違ってきたな、そんなふうにと受けています。1つは、先ほど申しましたように、前回の議論ペーパーには真ん中に「課題解決提案の方向性・イメージ」というものがあつたんです。それは今回はもうはっきり削除されました。そのことが1点です。もう1つは、一番右側にありました「課題解決提案の内容・手法」が今回の審議概要では「課題解決の提案」、提案内容がより明確になったと。このことが8月5日に整理されたものから比べると変化があつたなど、自分としては受けとめたところです。さらに、その具体的な取り組みも今回示されました。このことは皆さんがこの時期に当たりまして手応えを感じつつあるといったあかしではないかなと、自分としては思っております。

12月の半ばには提言として提出される予定と聞いております。本日の会議も踏まえまして、皆さんの今後の取り組みに期待をしているところでございます。

簡単ではございますけれども、会議開催に当たりまして私の御挨拶とさせていただきます。本日はまことに御苦労さまです。

司会（日下部） 続きまして、本日皆様のお手元に配付してございます資料の確認をさせていただきますと存じます。資料はいずれも各中央に資料名とページ番号を振っております。

本日の会議次第が1枚ございます。

後ろにホッチキスどめをいたしました資料1、環境を活かした人づくり部会審議概要。14ページでございます。

資料2、心を育てる地域と世代部会審議概要。こちらは15ページでございます。

資料3として区民会議フォーラム企画案。こちらは4ページ物になってございます。

続きまして、資料4、専門部会摘録でございます。こちらは全部で24ページになってございます。

以上が本日の会議資料でございます。落丁等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

2 議 事

司会（日下部） それでは、これより第4期宮前区区民会議第7回全体会議を開催させていただきます。これからの進行は委員長にお願いをいたします。直本委員長、よろしくお願いいたします。

直本委員長 こんばんは。区民会議の委員長の直本でございます。これから議事に移らせていただきます。

本日は第4期宮前区区民会議第7回全体会ということになっております。

先ほど区長さんの御挨拶の中にもありましたように、8月の夏の暑い盛りに第6回の会議を催しました。なかなか方向づけがどうなるのかなということの御心配をかけたような印象を受けておりますけれども、本日、提案できるような形にまとめたものを皆様方とともに最終的な確認、議論、追加、こういったことを進めさせていただきたいと思っております。

専門部会といたしまして2つの部会を立ち上げております。1つが環境を活かした人づくり部会です。もう1つが心を育てる地域と世代部会ということで、この2つの部会を立ち上げまして、それぞれの部会で審議を重ねてまいりました。

本日は提案できるような形でまとめさせていただいておりますので、その審議経過

を踏まえまして部会の内容をそれぞれの部会長さんから御発表願いまして、両部会の発表が終わりました後に、各委員さん方から追加の説明ですとか補足説明、表現等の問題とかがありましたら、そういったことについての意見をお願いしたいなというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、先に、環境を活かした人づくり部会の部会長の佐々木さんからお願いいたします。

佐々木委員 それでは、環境を活かした人づくり部会、略して環境人部会の部会長を務めさせていただいております佐々木でございます。どうぞよろしく願いいたします。

私ども環境人部会では11回の部会を去年から重ねて、これまで審議してまいりました。きょうはその審議の内容を発表させていただきたいと思えます。

まず、環境を活かした人づくり部会、これは何度か申し上げているんですけども、大きなテーマとしては3つ審議テーマがございました。まず1つはスポーツの推進、そしてもう1つは花・緑・川など身近な環境を活かす、もう1つは区民主体のお祭りというような審議テーマを設けております。

その背景としまして、今、資料1-1-をまず御説明させていただいていますが、左のほうに「審議テーマ」と「背景」がございます。

まず、スポーツの推進ですけれども、宮前区ではスポーツセンター等を介しているいろんなスポーツが盛んに行われているんですけども、こういうことをもっと健康づくりという観点において進めていったらどうかというのが大きな審議テーマでございました。

もう1つは、豊かな自然環境ということで、また、宮前区は川崎市の中でも比較的豊かな自然環境を有している区ではございますが、この自然環境を活かして、もっといろんなことができないかというようなことが2つ目の審議テーマでございました。

そして、3番目の区民主体のお祭りに関しては、背景としては、1つは次世代の担い手不足というものがございます。今、各地域ではいろんな伝統行事や催事などが行われておりますけれども、それを今後もいろんな人たち、特に若い世代の人たちがかわって続けていくためには、どのようなことがいいかということをも1つのテーマとして審議してまいりました。

いろんな大きなこの3つのテーマがありましたので、去年から11回の審議を重ねる中で、まず現状はどうなんだろうということで部会のメンバー、みんなそれぞれ区内のいろんなところを視察に行ったり、あるいは、それぞれ個別に調査したりということも行っております。

その中でテーマをある程度まとめていかななくてはいけないということだったんですが、今回は第7回の全体会でございますが、前回、第6回の全体会で発表させていただいたときには、テーマがまず大きく4つあって、それをどう絞ったかということ

お話しさせていただいております。

先ほど石澤区長から少し御紹介いただいておりますが、前回、第6回の、資料にはございませんけれども、テーマとしては4つ実はまだテーマがありました。1つは緑化・自然環境保全というテーマです。もう1つは公園の維持・管理・活用はどうしたらいいか、3番目は矢上川とか平瀬川、そういう水辺の保全・活用をどうしたらいいか、もう1つ、4番目が健康づくりということで、4つのテーマの中から、いろいろな観点から私どもとしては、まず公園ということ 키워ワードに絞り込みをしてきました。それがきょう発表させていただきます大きなテーマになってございます。

また、資料の1-1-の中ですけれども、真ん中の「目指す方向性」というものがございまして。こちらで区民に身近な環境である公園にテーマを絞り込み、その公園をどう活かして最終的に人づくりにつなげていけるのだろうかということで、部会のメンバーの中でいろいろと話し合ってきました。

公園といっても結構広い。また公園は公園で広いテーマがあるんですが、それを課題整理として4つの課題にまず整理してまいりました。

1つは、公園管理・活用に区民が参加しやすくなると。参加しやすくなる何か仕掛けが必要でないかと。現在、逆に言うと、そういうことが少し不足しているのかなと。そういうような観点からいろいろなことを話し合ってきました。例えば何か公園でこのようなイベントが行われているとか、そういうような情報を統一的に見る仕掛けが今のところ余りないと。あるのかもしれないですが認知されていないというようなことがあります。

もう1つ、2番目として、公園の管理団体として、今、公園愛護会や公園管理協議会というものがございましてけれども、このような公園管理団体をなかなか市民の皆様から自主的に補足してもらおうということが、ちょっと難しいのかなというようなことがテーマとして挙がっておりました。今、区内には205の公園がございまして。そのうち、先ほど言った愛護会とか公園管理協議会というような、市民が主体となって管理運営していない公園が65ということで、約3分の1ぐらいが、実はまだそういう市民が積極的にかかわっていない公園がまだあるなということが、いろいろ分析の結果わかってきました。

そして、3番目ですけれども、そういう愛護会とか公園管理協議会が既にあるんですが、そういう既存の公園管理団体で今やっている方は、だんだん世代交代も起きてきます。そういう中で今やっている方の負担感が大きいとか、あるいは、それをいわゆる次世代、若い方に引き継いでいく中で次の担い手がなかなか見つからないという問題があるということもわかってきました。それが3番目でございます。

そして、4番目においては、公園が持つコミュニティー、公園はそもそも人がたくさん集うところではございますけれども、そういうところでもっとコミュニティーを

活性化できないかなということが4番目のテーマとして挙がっております。

これが私ども環境人部会が公園ということ 키워ドにして4つの課題ということで整理してきました。

それで、資料1-1-に行きまして、右側ですが、では、公園を活用することでどうしようということで、大きく3つの提案を今回させていただければと思っております。

まず1つ、提案Aですけれども、公園の管理・活用活性化に向けた環境整備をする。これが提案Aです。提案Bは公園を身近なコミュニティ活性化の場として活用する。提案C、3番目ですが、公園の維持・管理に多くの区民がかかわる仕掛けをつくるということが提案Cで、この大きく3つの御提案をさせていただきたいと思っております。

もう少し具体的にお話ししていきたいと思えます。

まず、提案Aですけれども、公園の管理・活用活性化に向けた環境整備。では、一体どんなことがあるかなということで、これはもちろん仮称ではございますけれども、例えば宮前区マイパーク・ネットというものを設置したらどうかということも考えてみました。

仮称ではございますけれども、宮前区マイパーク・ネットのネットは、インターネットのネットではございません。あくまでもネットワークということで、人と人がつながることを主体にしたネットワークということです。

今、では、どんな概念なのかということ、このスライドで御説明させていただければと思えます。資料でいきますと資料1-14-という、環境人部会の最後のページに同じものがございますが、見える方は前を見ていただいてごらんいただければと思えます。

まず、この宮前区マイパーク・ネットの概念図ですけれども、最終的には先ほど言った人と人のつながりということを主体にしているんですけれども、では、どんな人、どんな人と人なのかというのが、この真ん中にある区民、そして、行政である区役所というふうに絵として整理させていただいております。例えばなんですけれども、区役所にはいろいろな、行政側にもいろいろな部、課とか、いろいろな組織がございまして、例えば道路公園センターでいきますと、公園愛護会とか公園管理運営協議会というものをサポートしている。例えば地域振興課で言えば、いろんなことをもちろんやられていますが、例えばスポーツ推進委員とか青少年指導員というものをサポートしている。高齢障害課というところでは老人クラブをサポートしている。もちろんいろいろなこういう縦のつながりはあるんですけれども、それを横連携というんですかね。串刺しみたいに横連携ということで、例えば宮前区マイパーク・ネット推進会議というものを設置して、もう少しいろいろな共通の悩みとか、そういうもの

が、情報交換とか、そういうことをしていけたらいいのかなということで、この概念図というものを作成しております。

この中で、大きく公園の維持管理をどうするかという話と、活用をどうするかという話がございます。この宮前区マイパーク・ネット、これからももちろんどうなるかわからないんですけども、予想される中間支援組織としては、今現在まちづくり協議会、あるいは公園緑地協会、グリーンフォーラムさんとか、いろいろなこういう既存の組織がございます。こういうものとうまく連携、協力することによって、ここに書いてあるようないろんなことができないかというのが、この宮前区マイパーク・ネットの概念図でございます。

資料に戻らせていただきますが、資料1-14-を見ていただきますと、今、私が前のほうで御説明しました、この宮前区マイパーク・ネット、左の絵ですね。これを、では、具体的にどうやって情報の発信・共有をしていくかというものが②の、例えば広報紙の発行、ホームページの開設等々、ここに書いてあることです。これをやることによって右下の③公園活用（コミュニケーション）の強化支援ということで、いろいろここに書いてあるコミュニケーションツールの貸し出し、あとはコミュニケーション技術の養成とか、団体間の連携による世代間交流の促進が行われて、また矢印がこの絵に戻ってきていますけれども、これは一過性のもではなくて、ぐるぐるぐるぐる回ることによって、こういう連携が強化されていくのではないかというのが、この絵の趣旨でございます。

資料1-1-にまた戻っていただいて、今の御説明が提案Aの中の①宮前区マイパーク・ネット（仮）設置の御説明です。②、③については先ほど御説明した、その結果どうなるかということです。これが公園の維持・管理、活用活性化に向けた環境整備。あくまでもこれはステージ、舞台ですので、環境整備ということで、提案Aということでまとめさせていただきました。

次に、提案Bですが、これはもう少し具体的な提案になっております。先ほどの宮前区マイパーク・ネット（仮）を推進していく中で、実際に、例えばなんですけど、この提案Bの中には④、⑤、⑥、⑦という事例を書かせていただいております。④については樹木や草花等にプレートをつけて、それを活用していこうと。⑤については今現在行われている冒険遊び場をもっと推進していただこうと。⑥についても、これも今、いろんなところで積極的にはもちろんやられているんですけど、公園体操をもっと拡大開催していこうと。それと、⑦についてはネイチャーゲームという、これは全国的にいろんなところで行われているようなネイチャーゲームですね。普及公開というものがございまして、そういうような取り組みを宮前区でももっと推進していったらどうかというのが④、⑤、⑥、⑦の御提案になっております。

きょうは時間の関係で内容については省きますけれども、細かくは資料の1-9-

提案B、資料の1-9-から資料1-12-までが、先ほど申した樹木・草花の名前のプレート
の設置・活用等に始まってネイチャーゲームまでの細かな御提案になっておりま
す。

最後の提案Cでございますけれども、地域が主体となった公園管理の促進という提
案内容ですが、こちらは資料1-13-、最後のA3サイズの1つ前のページとなります
が、資料1-13-を少し御説明させていただければと思います。

こちらは「地域が主体となった公園管理の促進」ということなんですけれども、ま
ず、目的としては、区民主体の公園維持管理を推進し、区民の地域参加の機会をふや
す、活用されていない公園の活性化へつなげるというようなことになっております。

具体的な取り組みとしては、現在、まちづくり協議会さんでいろいろ花壇の支援と
かが行われておりますので、こういうものと連携によった公園管理の促進、あるい
は、市政だより、回覧等を活用して公園管理の参加者・協力者の募集をする、あるい
は、花壇設置や花苗支援、報奨金等、既存支援メニューの周知、広報ということで公
園管理の促進を図っていきたい。

以下、提案に係る検討経緯、課題については、きょうの御説明からは省かせていた
だきますけれども、こういうような取り組みをして提案シートというふうにまとめて
まいりました。

以上、環境人部会では提案A、提案B、提案Cというような形で、さらにその中に
具体的な提案を織り込んでいるということでございます。

簡単ではございますけれども、以上、環境人部会の審議内容と結果の御報告でござ
いました。

直本委員長 佐々木部会長、ありがとうございました。膨大な資料を要領よくわかる方向
で御説明をしていただきました。

御質問、御意見等があるかと思いますが、最後にさせていただきたいと思います。

続いて、心を育てる地域と世代部会、お願いいたします。

大槻委員 それでは、心を育てる地域と世代部会ということで、部会長を仰せつかって
いる大槻でございます。御説明申し上げます。

心を育てる地域と世代部会も11回、いろいろ審議したわけでありましてけれども、最
初の資料2-1-にありますように、左側の上です。審議テーマとしてどんなものがある
だろうかというようなことで、最初いろいろ検討したわけでありまして。地域の間
あるいは世代間の交流を深めるというような点で、どのようなテーマがあるだろ
うかなということで、そこにあるような5つを挙げられたわけです。町内会の活性化
の問題、子育て親の地域意識醸成の問題、こどもの教育の支援の問題、定年後の生き
がい探し、孤独死あるいは孤立死問題が挙げられたわけでありましてけれども、こう
いうような中で、その背景として一体どういうことがあるだろうかということで、その

下の「背景」というところに今書いてございますけれども、1つは、地域とつながりの薄い区民の増加ということが書いてございます。

宮前区は、ここに「子どもの人口が最も多く」と書いてございます。ちょっと古いんですけども、平成22年4月のデータでいきますと、ゼロ歳から14歳までですと宮前区が3万3000人いるわけでありまして。中原区が3万人、川崎区が2万6000人ということで、宮前区が一番多いというようなデータがあります。それから、「人口比率も高い」と書いてありますけれども、川崎市全体で140万人ちょっとかと思えますけれども、中原区、川崎区に次いで3番目に宮前区が多い人口になっておりまして、15.5%ぐらい。一番多い中原区が16%ぐらいの比率かと思えますけれどもそれに次いでいる。

そういう中で、核家族化の問題、あるいは共稼ぎ世帯が非常に多くなってきていて、家庭環境の変化、あるいは不審者対策と社会変化に対応する子供と大人の交流の機会が非常に少なくなっているのではないかと。それから、居住期間が非常に短いというようなこともあります。これは川崎市全体としても転入、転出が非常に多いというようなことであり、これは人口の社会動態と言われておりますけれども、特に若い世代、特に20代から30代が非常に移動が多いと言われております。その中でも宮前区でも年1000人ぐらいの出入りというか、入居がある地域でございます。

それから、そのグラフにありますように、急速に進展する高齢化というようなことで見ますと、この太く書いてあるのが宮前区でございまして、この傾斜を見ますと、麻生区、高津区、多摩区と同じように宮前区、特に宮前区のカーブが非常に立っている（高齢化が進んでいる）のが特徴ではないかなと思うんですね。これは宮前区としての1つの課題かなと。なぜこういうふうにカーブが急になってくるか。生活環境の問題とか、いろいろあるかと思えますけれども、こういうのも1つの区民会議の課題なのかもしれません。

それから、一番下の活発で多様な市民活動ということで、市民活動が非常に盛んに行われております。高齢者の見守り活動とか、あるいは子育てサークルの活動とかということで、市民活動支援コーナーへの登録も270団体あるわけでありまして。しかし、その下にありますようなメンバーの高齢化・固定化、活動の停滞・弱体化、あるいは認知度の不足というようなことが、いろいろ問題ではないかなということが背景としてあるなということがわかったわけでありまして。

そういう中で、この部会の目指す方向をどうするかということでございます。このページの真ん中でございますけれども、特に背景の中の核家族化の問題、共稼ぎ、家庭環境の変化とか、あるいは居住期間が短い、移動が多いとか、そういうことで地域参加あるいは世代間の交流が少ないことを取り上げました。従って、目指す方向性として、真ん中の上にありますように、人材・世代が地域で交流して連携するような場

を創出する。それによって健全育成あるいは文化・体験の共有、伝承につなげて区民の心を育む方向で検討したらどうかということに進んだわけであります。

このような方向から課題を整理いたしてみますと、その下にありますような3点あるかと思えます。1つは、人とのつながりや地域への帰属意識の希薄でございます。親は仕事、あるいは子供は学校の習い事、そのほかで非常に忙しい。豊かな自然の体験を経験したり、地域活動に参加したりするような時間や機会に非常に乏しい。それから、世代間交流によってお互いに触れ合う機会が少ない。それから、3番目のポチとしてありますように、例えば郷土史などが世代間で継承されておられない。地域への帰属意識等の希薄化、そういうようなものがあるのではないだろうか。

それから、2番目として、市民活動の認知度向上、あるいは地域の潜在的人材の参加促進というようなことがある。これは区内にはすばらしい市民活動がたくさんあるわけでありまして、そういう中でも知られていないケース等がたくさんある。それから、参加のきっかけがない区民が多い。それから、さまざまな分野で実績、経験、知識、技術を持っている区民がたくさんいるわけでありましてけれども、そういう人々を活かした、あるいは協力を仰ぎながら地域の子供に継承していく。こういうふうなことをしていかないといけないのではないかな。

3番目が、ボランティアのコーディネートやネットワークの不足。これは社会福祉協議会あるいは市民館、子ども文化センター、そういう中で人材あるいは活動団体の登録、連携、体験などで、いろいろ個人情報に関連もあつて整理や共有化・発信が困難であるということで、横断的な活用があまりされていないのではないかな。あるいは、各取り組みがばらばらの印象があるというように見受けられる。この点から全体を俯瞰して連携したり、人材のコーディネートを進めるというふうな視点の機能が求められるのではないかな。あるいは、学校が地域の拠点となることが理想であり、そういう学校が、あるいは地域の人々が参加した相互の交流関係を築いていくようなコーディネートが必要だろうというような、3点の課題が整理されたわけでありまして。

では、それらを具体的にどういうふうに進めたらいいだろうかというのが一番右側の「目標」になるわけでありまして。

具体的な目標としては、そこに3点書いてあります。世代間の交流できる場を地域で展開すること、あるいは、各世代の文化、体験、記録を世代間で共有すること、それから、世代間交流に資する市民活動を支援するということを目指したわけでありまして。具体的には、その下にありますような提案AからDという4つに分かれるわけでありまして。

提案Aが世代間交流に取り組む諸団体へのサポートの実施であります。その下に具体的な取り組みとして提案A、①がございます。世代間交流に資する市民活動へのサポートということではありますが、詳しくは資料の2-6-1に書いてございますが、こう

いう市民活動の広報支援、あるいは地域ボランティア募集の支援等を区や団体との調整結果を踏まえて、サポートしていこうということでございます。その第1弾として「風の泉」という市民活動団体を支援するという事で挙げております。

2-7-の下に「風の泉」というのはどういう団体であるかが点線で示してありますけれども、特に小学校低学年で学ぶ九九の暗算を支援していこうということで、小学生の九九暗算定着の支援活動のプログラムを系統的に作成して活動している団体であります。ここの「風の泉」に第1弾としてサポートしていくことにしたわけです。

それから、提案Aの②として世代間交流のキャンペーン展開ということがありますけれども、これは詳細は2-8にございます。既存の世代間交流に資する活動をまとめてキャンペーンとして展開する。周知・広報・ネットワーク化の一助としていこうということで、2-8のところに示している様に、キャッチフレーズの案であるとか、ロゴマーク、キャラクターをつくっていくとか、バッジを作成してモチベーションアップを図るようなことを進めたらどうかという提案でございます。

次に、提案Bといたしまして、既存のイベントで世代間交流の仕掛けの企画と実施ということでもあります。

これは説明は後からにいたしまして、提案Cといたしまして、世代間の対話につながる新たなプログラムの企画と実践ということでございます。これはその下の、具体的な取り組みの③としてございますが、詳細は2-10にあります。特定分野に知識あるいは見識、あるいは技術・経験を持つ成人を核として、子供たちや親子が体験・対話を共有する場を企画・実施していこうというような内容でございます。

それから、提案Dとして、活動の記録、あるいは区誕生40周年、市制100周年に向けたアーカイブであります。これは具体的な取り組み④にございますけれども、こういうような企画を実施して記録を作成する。区民が閲覧できるような形で持っていったらどうか。さらに、区の情報をまとめるアーカイブ事業も実施して世代間交流の内容を盛り込んでいったらどうか。詳細は2-12に記してございます。

以上が提案でございますけれども、その下に申し送り事項、経過観察事項というところが2-1の一番下にあります。

提案Aの中でもいろいろ、学校支援センターの話を知ったり、調べたわけでありませうけれども、この辺は、ここにありますように、当面は行政の取り組みを見守っていこうということにいたしました。その下の提案B⑥にありますけれども、「チャレボラ」交流会の開催。これは、チャレボラというのは2-14-にございますけれども、小学生から大学生の福祉体験学習をやっているわけでありませう。この経験者とのいろいろな交流を図るということも考えたわけでありませうが、これも、この主催である市、社会福祉協議会等に検討経過を伝えて検討していただくことにしました。

それから、一番最後の提案C。先ほどちょっと飛ばしましたけれども、⑦ボランティアコーディネートに関しましては、今回は申し送り事項にいたしましたわけでありませす。

ちょっと長くなりましたけれども、以上がこの部会の内容でございます。

直本委員長 ありがとうございます。

本日、両部会長さんから御報告いただきました報告といたしますのは、年内に区長に第4期区民会議の提案報告書としてまとめたものを提出する段階に至っております関係で、それに準じた形で本日の審議資料をまとめさせていただいております。各委員の皆様方は、部会の報告内容の経過とちょっと段階が違っているなどということの御感想もあるかと思ひますし、あるいは、本日資料をごらんになりまして、この点、ちょっと説明不足ではないかなといったような御意見もあるかと思ひますので、そういった点についてこれから御意見をお聞きしたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

最初に、環境人部会のほうの御意見をいただいでよろしいでしょうか。

それでは、環境人部会のほうにつきまして、追加説明、あるいは、これはもうちょっとわかりやすく説明してほしいというふうな御意見等がございましたら、お願ひしたいと思ひますが。

それでは、最初に、実は、きょう御欠席の大村委員さんから伝言をいただいでおります。環境人部会の件についてなんですが。

まず、長期欠席になって申しわけありませんという謝罪のお言葉ですが、本日の議題につきましての点についてだけ読み上げさせていただきます。

まず、公園管理運営協議会、愛護会については道路公園センターが主体的にリードしていかないと現状は変わらないのではないかな。今回の（仮称）マイパーク・ネットについては道路公園センターや川崎市公園緑地協会など、どこか公的な組織がリードしてくれることが理想と思ひます。さらに、もう1つ、今回の部会提案を受けて道路公園センターが主体的に市民をリードして動いてもらうことに期待したい。リードしていただければ市民は一緒になって動くことができます。こういった点を皆さんの議論の場に加えていただき、検討を深めていただくとありがたいというような伝言が届いておりますので、これらも踏まえまして御意見をお願ひできればと思ひます。

どなたか環境人部会のほうで追加説明みたいなものはございませぬか。

こちらのほうから、御質問でも構いませんが。

何か……。両方で結構です。心を育てる地域と世代部会のほうの件でも結構でございます。

山下委員 環境人部会さんのほうは公園を主として話が具体的になっておられて、非常に僕はよろしいのではないかなという気はします。ただ、結局、動かしていくにはどう

するかという動機が必要なんですけれども、やはり町内会・自治会と一体になって動いていったほうが徹底しやすいのではないかなという気がしますので、我々のところでも自治会で環境部みたいなものがありまして、そこが要するに公園の管理運営協議会と提携して公園を動かしている格好になっていますし、自治会・町内会がどれだけ力を持っているかということにも左右されるんですけれども、そういった方向がいいのではないかなという気がします。

それから、木の名前のプレートをつくったらどうかというふうなお話が出ていたんですけれども、これも第3期のほうで出ていまして、実際には近くの公園でばらばらにそういうものをつくれるよりは、宮前区として名前があって、それぞれの公園でプレートをおつくりになられて、統一的なものをおつくりになったらどうかというのを、環境部会さんのほうにはそういうふうに感じました。

以上です。自分の部会のほうはまた後で言いますから。

直本委員長 続けてでも構いませんが。

山下委員 自分のほうの部会をやってしまいますと、結局、世代間交流ということで難しいのは、やはり組織的に動かすかというのが一番難しいわけですよ。結局、これは学校が主体になるか地域が主体になるかということで、どうもやり方が違ってくるのではないかなという気がするんですね。実際には、具体的にうまくいっているところも非常にあるわけですから、地域の方がいろいろ、畑の現場でいろいろ芋掘りをやってみたりとか何とか、そういうものをおやりになっているところもあるし。だから、それはどちらがリードするか、あるいは一緒になってうまくやれるのか、それがどこの機関でやるのかということが非常に難しいのではないかと思います。

第2点ですけれども、高齢者のボランティアというものは非常に大切になってくると思うんですけれども、動機づけするのが非常に大切ではないかなという気はします。要するに、自主的にどうやって動いていくかということだと思っただよ。実際にはこの間、市長になられた福田さんが公約で言っているわけだよね。高齢者の有償ボランティアとかなんとかというふうだね。そういうものがどういうふうに具体的にされるのかどうかというのは、どういう機関をつくって、どういうふうに具体的にされるのかどうかとか、そういうものをどうされるのかなというのが、非常にこれからの方向性をつける上で大切ではないかなという気がします。

シルバー人材センターというものがあって、実際的には具体的にも広範にそういうものをおやりになって、1日出かけていくというような印象でおやりになっているところもあるし、そういうものやっていると、あるいは交流や何かもできるのかなという気もしますし、そういうものがあつたなという気がします。

それから、アーカイブがちょっとあつたけれども、実際には宮前区の歴史というのは、余り人が住んでいなくて歴史というものはどうかという気はするんだけど

も、実際には大山街道とか王禅寺街道とかがあって、あるいは、御岳講だとか大山講だとかがあるし、あるいは、影向寺あたりには橘樹の郡衙があった、そういうところの歴史をひもとくのもいいし、あるいは、高射砲の陣地があったというようなことで、そういうことをやるのもいいし、そういう意味では、宮前区のアーカイブをやることになるといういろいろ出てくるのではないかなという気はします。

ただ、100周年を記念してつくるというのは、あと10年先ですから、この中では皆さん、おられなくなる方もいるのではないかなという気はするんだけど、とにかく今からそういうことをおやりになっていていいのではないかなという気はします。

直本委員長 ありがとうございます。

ほかにどなたか補足、追加はございませんか。何かございませんか。

本郷委員 資料4-1-をちょっと見ていただけますか。

そこに私の過去にお願いしたことがうまくまとめてあるわけですがけれども、私は、水沢の森とか平瀬川、飛森谷戸、東高根森林公園、こういうところでこういうふうな会をつくるときから参加しているメンバーの一人です。ここには現在、100名を超えるいろんな人が集まっているグループもあります。大半が50名を超えるようなグループになりました。

ここの特色は、各自治会から応援をいただいているということも1つ。それと、地域の枠を越していろいろな人たちが集まっている。いろんな職業体験の人たちが集まっていっしょやる。それから、さらに、小学校、幼稚園、中学校が頻繁に活動を見に来る。また、一緒に活動している。こういうふうなグループです。したがって、きょうのこのテーマの大半がここに包括されているわけです。

ここの一番の悩みというのが、ここに書いてありますように活動の資金がないんです。ここの2行目から申し上げますと、現在は川崎市の補助、セブンイレブンの基金などを得ている。ただ、新しい事業に対しては助成金がつくが、日常の管理、維持とか繰り返しやる仕事に対しては補助が出ない。したがって、我々はあの手この手を使って、例えば水沢の森は毎年100万円お金をいかに捻出するか。運営をしていくにはお金の苦勞をしているわけです。

まず、ここで言いたいのは、環境部会でも申し上げましたけれども、これはまさに宮前区の特色をあらわす運動をしているわけですから、宮前区の区長の、もしくは宮前区の区の財源でこういうふうなところを補助してもらえるような、そんな仕組みをつくっていただきたい。お金がないと我々はもうじき倒れます。せつかくここまで来て、100人から、そういうふうなグループが機能不全になるわけです。

こころを今回の会合でたびたび申し上げてきたんですけど、今回のまとめではきれいにその文言は消えております。だから、ここにひとつ考え直していただきたい。こういう文言をつけてほしい。これは私がきょう出てくるに当たって、そういう

ふうなグループの責任者から特にきょう話してくれということです。

直本委員長 ありがとうございます。

それでは、まだまだほかにも御意見とかがあるかと思いますが、副委員長、お願いいたします。

宮崎副委員長 私は心を育てる地域と世代部会を担当しております、こちらは、要は、世代間交流を進めるためのいろんな場づくりを、いろいろなジャンルにわたってともかくつくり上げていくという。それでサクセスストーリーを要はつくっていただいて、コーディネーターとしての人間力なんかが多分にサクセスストーリーの中には大きな影響力を与えるのではないかなと思っておりますので、そういうことを少しずつ積み上げていくことによって、また違うサクセスストーリーをつくり上げていく。そんなことを、ある意味では営々とやらなければだめかもしれないんですけども、まずはそういうところから、何か実際の経験というか、実績づくりにつなげていきたいと考えておりますが。

直本委員長 それでは、環境人部会の副委員長にもお願いいたします。

黒沢副委員長 いろいろ資料をつくるに当たりまして案はいろいろ出したのでございますが、例えば公園の維持管理を続ける、それから、地域に立ち上げるにしても、やはり資金がないと長続きはいたしません。その辺を十分考慮して、また検討していただければと思います。

直本委員長 ありがとうございます。

まだまだこれから議論を重ねますと追加しなければいけないことがどんどんふえそうですので、一応この辺で御意見は打ち切らせていただきまして、本日出ました御意見につきましては、企画部会はこの後また行いますので、企画部会のほうでどういった形で取り組んでいくか、今後に引き継いでいくかということについては検討させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

この区民会議の最終報告書としてまとめましたものにつきましては、インターネットで流されることになっておりますので、本日、御参列の皆様方もいずれそういったところで閲覧していただきまして、今後の参考、あるいは活動に役立てていただければ大変ありがたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

本日、3名の参与の方がお見えでございます。参与の方々に、本日の審議等につきまして今後参考になるのではないかなといったようなことにつきまして、御意見等をお聞きできればと思っております。

それでは、最初に、最初にお見えになりました添田参与からお願いしたいと思えます。よろしく申し上げます。

添田参与 きょうはどうもありがとうございました。参与の添田です。

やはり皆さん、地域に対して非常に御認識が高いというのはもう重々、これはもう

わかっている話なんです、一方で、やはりここにあるように、例えば背景のところでも、子供人口が多い宮前区、あとは居住期間が短い世帯とか若い世帯がふえているということで、地域の縁も薄れているというところも非常に問題で、かくいう私も福島の出身で、まだここに住んだのは短くて、そして幼稚園の子供がいるということで、まさにこれに当てはまる場所ではあるんですが、ただ、一方で、やはり若い世代も、ここにあるように、例えば花壇の手入れをされている方々とかがいらっしゃる。けれども誰がしているかわからないというような意識の中で、実は関心があったりするという方も、私の妻のいわゆるママ友とかでも結構いたりするもので、やはりそういう意味では、こういう活動をどんどん発信していくことは重要だなというふうに改めて感じた次第です。

あと、もちろんそうした市民の皆さんのやる気を担保していく意味でも、資金の面も、これは当然考えていかなければいけないなと改めて認識した次第です。

また、これは蛇足になるかもしれませんが、福田市長を今回選挙で応援した一人として、先ごろ高齢者のボランティアの話とかも出ましたし、また、地域の課題対応事業費の自由度、使い方の自由度の高さとか、そういったことは、やはり市長が新しくなったということで、この辺はやはり重要な課題だなというふうに改めて認識をしたところもあるので、それはすぐに福田さんのほうには伝えていきたいと思うので、またぜひこういう機会で私自身も学ばせていただければと思います。ありがとうございます。

直本委員長 ありがとうございます。

それでは、竹田参与、引き続きお願いいたします。

竹田参与 済みません、おくれて来まして。参与で参加をさせていただいております竹田です。

まず、環境人部会のほうから意見や御提言をさせていただければと思います。

宮前区マイパーク・ネットの設置、まだ仮ですけども、非常によい取り組みだと思っているところでございます。公園の全体的なあり方を統合しつつ、また、公園のコミュニケーションの機能を拡大していくということは、非常によい取り組みになって、それが実現できれば、新しい方々にもどんどん公園を中心として地域のコミュニティーの活性化が広がっていくと思っております。資料にもありましたとおり、宮前区は新しく住まわれた方も多く、私の同世代の新しい、子供を育てている世代も、公園を通じてどんどんとコミュニティーを広げていきたいという御意見も多くいただいております、例えば仲間内でバザーをやらせてほしい、あと、バーベキューをやらせてほしい、なかなか行政がうんとも言わず、そういったことを、道具とか貸し出して、区民会議が中心となって、それをいいよということ、きちんと許可をとっていきなすという看板でもあればやりやすくなっていったら、そこでどんどんと公園が広がって

いくと思っております。

公園もなかなか、大きな公園は子どもたちが遊んで人が集まるということがされておりますけれども、小さな公園は草が生え続けて、雑草も手入れもなかなか管理が行き届いていないということも、皆様も御承知のとおり、無駄になってしまっているスペースも多く公園もあるわけでございますから、そういうところを宮前区マイパーク・ネットを中心として、いろいろな公園の機能、あり方を統合していければ、素晴らしいことにつながっていくのではないかと考えております。

それから、地域世代部会についてでございますけれども、高齢者の方々は、いっぱい地域に貢献したいという方々はいっぱいいらっしゃいますけれども、なかなか足がかりとといいますか、手がかりとといいますか、それがないという意見も多く聞こえてきます。

先ほど山下委員からも御意見がありました、新市長が高齢者の方々の有償ボランティア化という公約も掲げておりますので、これと宮前区、また、川崎市全体、また、行政とも協働しながら、区民会議としても、その区民会議の事業として1つやってみたら、本当に成功する事例として新しくこれからの地域づくりにつながっていくのではないかと考えております。

それから、また、本郷委員や黒沢副委員長がおっしゃられたとおり、やっぱり資金がないと何もできない。区長、区の権限、宮前区の権限で予算を引っ張って、どんどん宮前区の事業を広げていきたいと考えております。これは私、ずっともう川崎市議会のほうで前阿部市長とも、また、各局長とも、宮前区長とも、この間議論を本会議場でさせていただきまして、宮前区、各区の機能の強化、権限を強化していく、予算を、また人間を強化していくということをずっと議論してきまして、今回の福田新市長はきのう初めての登庁日でございましたけれども、年末に私もまた改めて議論ができる立場でありまして、福田新市長もそのことを本当に強く思っていちゃって、ちょうど宮前区民でございますので、改めて議論をして、宮前区民会議中心といたしまして、予算をもうちょっと多くとって、事業も多くとって、形骸化してしまった事業はもうやめにし、新しいことを皆さんで始めていこう。

あと、交通対策です。話が変わって申しわけないですけども、全体的な交通対策につきましても、市営地下鉄の構想が、宮前区の方々がもう切望していた市営地下鉄のことも凍結してしまったので、全体的な川崎市の視野も入れながら、宮前区としても宮前区民の方々のお力もかりながら、交通対策についても議論をしていきたいと思っております。

済みません、ちょっと話が最後それましたけれども、今後とも皆様方の御意見、御要望、あとはお力もいただきながら、宮前区区民会議を中心としながら宮前区をよりよくしていきたいと思っております。ありがとうございました。

直本委員長 ありがとうございます。

それでは、石川参与、お願いいたします。

石川参与 遅参をいたしまして申しわけありませんでした。

本当に最後、財政的支援をという御発言、ここをきょうは聞かせていただいただけでしたけれども、たくさんこの提案が具体的にもされております。特に心を育てる地域と世代部会のほうでは、やはり上からどんな制度をつくっても、それは住民からつくり上げないと心が通ったものにはならない、本当に生きたものにはならないということで、なかなか難しい課題ですが、ぜひ、またこれからも皆さんのアイデアをいろいろ具体化ができていけたらいいなと思っています。

また、環境人部会のほうのお話は、財政的な支援がやっぱり今本当に求められているんだということを改めて思いました。予算議会等も含めて、これからも議会でやることをぜひやっていきたいと思っています。

たくさんテーマがあって、正直言うと、この資料を読んだだけでは正直、十分に理解できないこともありますので、ぜひこれからまたそういう点については1つ1つ皆さんに教えていただきたいと思います。

本当にきょうは遅くなりまして申しわけありませんでした。

直本委員長 ありがとうございます。

3名の参与の方々から大変心強い区民会議についての御支援のある発言をいただきました。区民会議の委員としても大変心強く、これからはますます頑張っていこうかなという気持ちを多分皆さん感じたのではないかなと思います。

それでは、以上をもちまして審議を終わりにいたしまして、続きまして、次の議題でありますフォーラムのほうに移りたいと思います。

フォーラムにつきましての全体的な像につきましては前回確認したとおりでございますけれども、その後、11月の企画部会で企画案を審議いたしまして、それを形としてございますので、それを土台にしまして皆様方の御意見をお聞きしたいと思えます。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

岩下（カイト） それでは、私から御説明をさせていただきます。

資料3になりますので、これに沿って説明をさせていただきます。ごらんいただきながら聞いていただければと思います。

今、委員長からお話がありましたとおり、企画部会を経た案ということで、きょう提示をさせていただきます。

まず、基本的な設定ですが、タイトルは仮で「第4期宮前区区民会議フォーラム」としております。今後、タイトル変更やサブタイトル検討もありかなと思っています。前回は内容に合わせてウォークラリートークラリーというようなタイトルもつけ

ていたと思います。

日時ですが、今年度末です。来年、26年の3月15日、土曜日の午後、2時間半程度ということで予定をしております。

会場ですが、きょう皆さんがいらっしゃる、この4階大会議室及び向かいの各会議室、廊下等、この4階一帯をまず会場として仮確保してございます。それから、その他、必要に応じて2階ロビー等も使えるかなと思っております。

次に、考え方の確認です。目的ですが、主に3つあるかと思えます。最も重要といえますか、最優先となるものが今期、第4期の活動成果である提案の御報告、それに対する区民との討議の場ということ。それから、もう1つ、こちら重要になるかと思うんですが、その検討テーマや提案に合わせて、いらっしゃる方々とともに体験や学び、出会いの場としたいという目的があるかと思えます。今回のテーマ、具体的には両部会から出てきました地域人材育成ですとか公園の利活用などが挙げられるかと思えます。

それから、もう1つ、最後に区民会議のPR、今後のあり方についても討議ができればと考えております。

次に、ターゲット。具体的にどんな方に来ていただきたいかということですが、まず1つは多世代の区民ということで、今期は特に世代交流がテーマになっていますので、そうした方に来ていただきたい。それから、各委員さんの出身・推薦母体団体にも今回積極的に動員をかけて来ていただきたいなと思っております。特に委員交代の時期でありますので、次期委員の候補になるような方々、それから、各団体にも区民会議、その提案への認知、協力を、このフォーラムを機会に募っていくということかなと思えます。

それから、もう1つは、今回の提案、テーマにかかわる市民活動団体の方々に来ていただいて、発表、交流の機会も設けるとのことです。

その他ですが、区民会議委員によって手づくりで、来た方を案内したり、もてなすような企画ができればと考えております。

次に、プログラムです。いただいた意見をもとに企画委員会で大まかな流れをまず考えてみました。

こちらに表がありますが、まず、開会式。こちらは開会宣言で挨拶ということになります。

それから、次に、区民会議の概要を紹介する。こちらは提案の内容までには踏み込みません、区民会議のこれまでの経緯ですとか仕組み、部会やメンバーの紹介等をまず行おうと。

それから、その次に1時間ほどかけて体験・交流プログラムということで、詳しくは後ほどちょっと説明させていただきますが、いろんな方々に集まってい

て、今期の検討テーマに関する体験や討議をできる場を複数展開して、来た方々にはその場で選んで参加したり見学していただくというような形がとればなと思っております。

次に、一回この体験・交流プログラムで各会場に散ることになりますので、一回また大会議室に集まっていただいて、ちょっと休憩・気分転換タイムということで、15分と書いてありますが、ここでいきなりまた討議に入るのではなくて、ちょっとティータイムですとか、例えば体をほぐす体操、あと、音楽の演奏やパフォーマンスを見るなどという息抜きタイムを入れてはどうかという案になっております。

それから、区民会議の提案を次にこのタイミングで入れるということですね。先にテーマに関する具体的な体験や検討をしていただいた後で提案をここで紹介するというので、このほうがよりイメージが湧きやすいのではないかと企画部会の御意見でした。

それから、最後に全体会ということで、きょうのプログラムを振り返って、体験交流プログラムから提案について参加者と皆さんで意見交換の場、それから閉会式等を40分ぐらいでということで、全体で2時間半のプログラムとして想定してみました。

時間帯としては、1時半に始めた場合、4時ごろに終わるという形になるかなと思います。

次に、2ページになります。このあたりが、特にきょう皆さんからの御意見をいただきたいところです。

企画部会では、それぞれ今回2部会ありますが、その部会のメンバーや部会提案にかかわるような活動団体の方に御協力いただいて、各会議室やこの会場を使ってブースを4つほど設けて、時間内に参加者の方に回ったり体験していただく。その中で、全て決定ではないんですが、幾つか企画部会で出た案、各部会から挙げられた案を踏まえたものが挙げてございます。具体的には体験のブース、展示の交流のブースになるかなと思います。

具体例がこの2ページの下表に出ておりますが、例えば環境人部会の体験としては、区内の緑地、公園に関するクイズ、また、そこに生えている樹木や植物、環境等に関するクイズコーナーですとか、あとは自然物を使ったクラフト、シュロの葉っぱでバッタをつくったり竹トンボ、いろんなところでグリーンフォーラム21さんなんかが活動されているようですが、そういった体験コーナーをつくれるとよいのではないかとということでした。

それから、心部会のほうでは、今回世代交流キャンペーンが提案として1つ出ていますので、それについて具体的にキャッチフレーズを来ていただいた方に考えていただいたり、あと、宮前兄妹、30周年のキャラクターがありますが、その家族をふやしたいというふうなキャンペーンが出ておりますので、その想像図を描いてもらった

り、あとは具体的に宮前兄妹と触れ合ってもらえるようなブースをつくってはどうかということ。こちらは当日着ぐるみの予約も仮にしているということです。

それから、あと、具体的には世代交流の何かゲームコーナーができればいいねという意見が出ておりました。ただ、内容については、かるたという案が出た一方で、かるたは前回実施したので、それ以外がいいのではないかという御意見も出ておりました。

展示交流としましては、環境人部会としては公園サロンということで、今回のネットワークのプレ試みみたいな形になるかもしれませんが、いろんな方に声をかけてきていただいてディスカッション、情報交換するような場、それから、心部会のほうではアーカイブという提案が出ておりましたが、郷土史にスポットを当てて、それに関する展示やディスカッションができる場として設定してはどうかという御意見が出ております。

それから、右の3ページに移りますが、こちらは休憩コーナーやパフォーマンスの出た案です。1つは、公園体操ということで、今回も提案の中で公園体操、これまでも推薦してきましたが、もっと拡大しようという案が出ておりましたが、例えば皆さんで座ったままでもできるような体操を一緒に体験するですとか、ハーブティー、あと音楽、腹話術、マジックなどのパフォーマンス、あと、出ましたのは宮前C級グルメというものがことし、第5回ですか。区の事業でも進められているんですけども、その歴史、レシピ紹介ですとか作品試食なんかをやってはどうかという御案も出ております。

それから、4ページに、こちらは環境人部会の藤田委員からの御提案になりますが、全体のイベントというか、そのブースの1つなのかわかりませんが、公園体操みやまえ大会、オリンピックということで、公園体操で頑張っている団体を特に顕彰するような場を設けてはどうかという御提案もいただいております。

その他、集客・宣伝等についてもチラシの展開ですとか、具体的にどの団体に呼びかけるか、それから、イベントのところですね。今ちょっと紹介しました公園体操オリンピックですとか、第3期の提案、坂道ウォーキングに絡めた、これも顕彰や表彰の場を持ってはどうかというふうな御意見も出ております。

簡単ですが、以上です。これらについてきょうこれから御意見いただいて、内容については大枠きょう固めたいと思っております。よろしく願いいたします。

直本委員長 ありがとうございます。

今、説明していただきましたように、かなり盛りだくさんの内容となっております。つまり、展示、それから体験、交流といったようなことをわずかの時間の中でやるかということですので、実際運営する場合には運営、この区民会議の委員の皆様方、もう全員前回と一緒にございますが、役割を担っていただく形を前提と

して、これから意見を煮詰めていきたいと思えます。

それでは、まず最初に、設定、考え方等につきまして何か御意見等ございましたらお願いしたいと思えますが、いいですか。

それから、あと、全体の流れとしては、一応このような流れを前提として進めるということでしょうか。まずこの辺の共通確認を行いたいと思えますが。

では、一応全体的な流れとしては、これからまた御意見をいただく内容によって若干時間等が前後するといったようなことは、また改めて考えることもあるかと思えますが、当面、この全体の流れのプログラムの中でフォーラムの実施を考えていくということで御意見をいただきたいと思えます。

それでは、ここから先は体験・交流コーナーの案ですとか中身の御意見を皆様方、お1人お1人からいただきたいと思えますので、よろしくお願ひいたします。

大槻委員 資料3の2ページのところの体験・交流コーナーですけれども、心を育てる地域と世代部会としてどういうものがあるかということで、私もちょっと考えてみたわけですけれども、市民活動をいろいろやっているところと連携するのが1つあるのではないかなと思っております。

例えば市民活動の劇団で吉福会があって、これはいろいろ紙芝居とかお話とか踊りとか歌とか、そういうレクリエーションをいろいろやっている市民活動の劇団があるらしいんですけれども、こういうところで、ちょっと世代間で交流できるような紙芝居とか何かやってもらえるかどうかというものが1つあるかなと。

それから、あと、やはり市民活動をやっている宮前区こども会連合会ジュニアリーダー研究会というものがあるんですけれども、このジュニアリーダー研修会とか子ども会でゲームとか歌とか遊び方を学んでいるような、中学、高校生ぐらいの方がいるようございまして、こういうところの人にいろいろ学んだことをやってもらって交流を図るようなことがあるかなというふうにも思っております。

そのほか、ちょっと二、三考えておりますけれども、一応その点だけです。

平井委員 済みません、事前に送られてきたものを見ていなかったもので、ごめんなさい。

今、きょう見てすぐ意見を言えというのは、ちょっと済みません。

外だとネイチャーゲームという形で世代間交流ができることもありますし、中なら中でできるんですが、それもいいかなと思っております。後でまたもうちょっと考えてから言わせていただきます。

田浪委員 せっかく公園のほうでも世代の交流が大事だということがあったので、もちろん所属団体から参加要請という意味で協力はしたいんですけれども、もっと何か、もう子供の団体、それこそ幼稚園とか小学校とか、そういう団体で何かやっているところも呼んでパフォーマンスしてもらおうとか、何かそういう子供がたくさん来てもらえるような雰囲気をつくれるといいな。子供と実際に接していることがない方が会議の

中でも多い気がするので、子供がいると元気も出るし、そういう企画が1つ入れればいいなと思いました。

あと、せっかく九九もやるので、1時間でできるかわからないんですけども、九九の「風の泉」さんの聞き取りみたいなものを体験的に入れたりもできればいいのではないかなという気もしました。

でも、なかなか60分で体験だけというのは難しいかもしれないんですけども。そんなところですよ。

豊島委員 プログラムの1と2はほとんど決まりでしょうね。恐らく。これは決定だと。あと、3以降なんだと思うんですけども、この提案の仕方はかなり重複しているところもあると思って、何か似ているところがあって、どういうふうにこういうふうにできてしまったのかなと思うぐらいな提案なんですけれども。だから、これをまとめて共通にすると、もうちょっと絞れると思うし、どれをやってもいいと思いますし、何をやってもいいと思うんですけども、どうにかなりますよ、絶対に。ええ。

だから、重なっているところをまとめていけばなるから、もう企画委員さんに私はお任せです。これはすばらしい提案だと思いますけれども、どうにかなります。絶対に。と思います。

以上。

佐藤委員 私は地域との交流を保とうと思って、月曜日から金曜日まで児童の登校の見回りをやっております。その登校のところは4メートルぐらいの道路しかないところを1時間余りの間、約60名近くの児童が通っているんですけども、車が上下、行き来合いができないところに、1時間の中に大体40台ぐらい通ることもあるんです。そのときの子供の登校は本当に狭いから危ないので、一応3人で見回っているんですけども、私らは年寄りなので、若い方が我々のかわりに参加していただけるのかなと思っているんですけども、今、3年ぐらいたちますけれども、全然その3名は変わらないんですね。

だから、地域の交流とか、そういうものをいかにしてやればいいのかということを自治会の会長に相談したことはあるんですけども、そういうところのボランティアは積極的に出てくれる方がいないというのは本当に、世代間交流云々と言うけれども、地域地域によっていろいろ差があると思うんですけども、これから私も今少し自治会にははっぴ入りしてお願いしていこうかなと思っています。

私みたいに年寄りはそれしかできないものですから、そういうことを積極的にやっていきたいなと思っています。

太田委員 私は心のほうで参加しているんですが、1つ提案があるんです。体験という中で、私のボランティア自慢みたいなことで、それを1時間ぐらいの中でやるのは大変だと思うので、先着順受け付けますということで、各世代、10代、20代、30代、40代

の方から自分のボランティア自慢みたいなこととかを話してもらおううれしいなと思うんです。

実は私、社協の理事もしてまして、その中でボランティア交流会というものをやっているんですが、やはり年代の高い方ばかりなんですね。ボランティアで来るのが。この間、子供たちのチャレボラを皆さんも御一緒に参加してもらったんですけども、いわゆる中学生たちがやって、その体験を発表してもらうのはいい経験になるし、それから、それを年齢の違う方たちが聞くのもいい経験になるので、何かそんな場をちょっとつくっていただくとうれしいと思いました。

直本委員長 済みません、今のボランティアというのは、小学生とか中学生の世代の方の……。

太田委員 各世代。

直本委員長 各世代。

太田委員 そう。10代、20代、30代ですね。小中高、大学とか、あと高齢の方も入れて、何かうまくバランスをとってできないかしら。各世代1人ずつでもいいですので、何かできるといいなと思いました。

岡委員 両部会に共通することだと思いますので、1つ提案をしたいと思います。

せっかく我々は今、こういう提案をしているので、審議が通るかどうかわかりませんが、具体的にこのときに、例えば環境人部会さんであれば、公園でお花だとか花壇の清掃、花づくりをしていらっしゃる団体さんにデモンストレーションというか、どこかブースを設けていただいて、実際にこういう活動をしているんだよということを、パネルだとか、あるいはそういうふうなお話を、具体的な活動の報告をする場があってもいいのではないかなと思います。

それから、もう1つ、今、私の所属しております世代部会のほうでは、せっかく「風の泉」の支援をしましょうということを提案させてもらっておりますので、具体的に「風の泉」の方に来ていただいて、実は私どもはこういった活動をしております、そして、お聞きしますと、いい結果が出ているという話を聞いておりますので、もしできればそういうことで、御父兄になると思いますが、お子さんのこういう成果があったんだよということを具体的に、そのブースか何かで発表していただける場があればより身近なものに感じるのではないかなと思いますので、そういうことが具体的にできたらいいなということで提案をさせていただきます。

山下委員 このフォーラムについて言えば、いろんないいプログラムがありますので、結局どれを選ぶかということなんでしょうが、問題は、やはり呼びかけとか動員だと思うんですね。結局、個人的に呼びかけるか、あるいは皆さん所属の団体を呼びかけるか、また、あるいはどこに呼びかけたら動員できるか、そういうことが大切なのではないかなという気がします。とにかく来ていただくことが重要ではないかと思いま

す。

それと、あと、個別のことであれですが、例えばこの中で坂道ウォーキングというものが久しぶりに出てきて……、久しぶりではないんだけども出てきているんですが、これも実際、具体的に1つやってみるといいのではないかなということはありません。

藤田委員 フォーラムで言いますと、昨年ですかね。ウォークラリートークラリーが非常に楽しくて、人もたくさん参加されたと思うんですね。山下委員がおっしゃるように、いかに呼びかけて人に来ていただくかというのが、やはりポイントになると思うんですね。区民会議の活動報告は、これは必須ですからやらなければいかなのでしょうけれども、それ以外にいかに人を集めるかということで、私が提案したのは、その日だけでは結局いかないんですけれども、本番の中のほうの提案にもあるんですけれども、公園体操を拡大していく1つの方策として、公園体操オリンピックのようなものをここに、4ページ目にちょっと書かせていただいたんですが、特別オリンピックをやるのではないんですけれども、1カ月ぐらい記録をとってもらって、フォーラムのときにはむしろ紹介と表彰式をやるという形で、それによって多少人も集まるのかなというふうに考えて御提案させていただきました。

区民活動フォーラム、ここにも非常にたくさんいいアイデアを出していただいているんですけれども、正直言ってなかなか人が集まらないというのが最大の課題なのかなと思っています。

芒崎委員 ここまで回ってくると、なかなか言うことがもうなくなってきていますので、フォーラムは、こうやって見ていますととても盛りだくさんで、果たしてできる……、まあ、できないということは言わないですけれども、一応やってみる、いろんなことをやってみるということが大切なことなのかなと思うんですね。頭の中で考えているよりも、とにかく動いてみるということがとても今、私、意外と動くのが好きなので、こういう机の上よりも外で動いているほうが好きなものですから、そういう考えになるんだと思います。

それをあれしまして、今、公園体操ということで、公園体操は年配の方が多いいんですけれども、とても皆さん上手にやっていたらっしゃいますので、こういう方たちに集まっていただくようなことを考えながら今回のフォーラムもやっていたら、多少人が集まりができるかななんてちょっと思ったんですけれども、皆さん言っているように、やっぱり人をどうやって集めていくかということが一番の課題になるんだと思います。

また、今、皆さん、お子さんたちは意外と土日、サッカーだ野球だと、かなりそういうほうへとられていますので、そういうところも考えながら人集めがやっていたらいいかなと思っています。

本郷委員　こういうふうな会合は人をどれだけ集めるかということが企画の最大のポイントですけれども、我々がいつも常用しているのは小学校に呼びかけるんですね。各小学校は地域でどういうふうな特色を持ってやっていこうかという学校運営を、みんな考えていらっしゃるわけです。したがって、2つ3つのテーマに絞って、もしくは各学校がどういうふうなことをテーマでやっているか。学年を全部そろえて、例えば5年生に発表してもらおうとか4年生に発表してもらおうといったら、学校は比較されるわけですから、皆しっかりと教員が教育をして、10人ぐらいずつは出してくれます。

みんな発表の場がないんです。実際に。そこまで日ごろ学校でいろいろトレーニングしているんだけど、発表の場が限られて、校内に限られるとか、そういうふうなので、対外的に、仮に宮前区のこういうところでやると言ったら喜んで出してくれるのではないかと思いますね。だから、そういうふうなものを1つやってみたらいかがでしょうか。

森山委員　今までの皆さんの御意見が、すごくいい案が出ているように思えます。体験交流プログラムの1時間で、例えば市民館の前の広場で各団体のブースを持って、それに私たちもお手伝いしながら、そういう発表の場をどのぐらいできるかが問題だと思いますけれども、どの程度の数のブースが設けられるか、できるのか、興味も持ちながらやってみたいなという気は私も持っております。

福田委員　実は、皆さんの御意見を聞きながら、なるほどなと思いつきながら聞いております。身につまされるところもあるんですけど、まず、我々、区民会議が原点に立ち戻って、我々、区民会議というのはどういうことをするんだ。まずそこなんだろうと思うんですよ。宮前区が住みよい宮前区、気持ちのいい町、そして暮らしたい町にするため、なるために我々はどのようなことを考え、どのようなことを具体的に提案として皆さんの前に、いわゆる行政のほうにお願いするのか。最少の費用で最大の効果を得るためにはどうやったらいいだろうというので、私は参加させていただいているつもりなんです。

そういう立場というのか、考え方から私は申し上げますと、私は老人会の宮前区老人クラブ連合会の推薦でこちらに参っております。したがって、我々の組織団体には月に1回の単位クラブの会長の会合、会長会議と言うんですが、それと連合会に理事がおりまして、理事会がございます。そういうところである程度報告し、現在の、いわゆる区民会議というのはこんなことをやっているんだよということを口頭で報告させていただいています。それは推薦されている私の1つの使命だと思っております。

したがって、今回の3月のフォーラムも、いわゆる我々の仲間、何人かがお手伝い、または参加して、卑近な例えで言うと枯れ木も山のにぎわいかなというようなことで、役には立たないかもわかりませんが、協力していただければと思います。

す。

中には団体推薦で来られていると思うんですよ。したがって、私も会議のところで、ここではないんですが、会長会議とか理事会のところで、2階に上げておいてはしごを取るようなことをしないでくださいと言っております。

だから、推薦する以上は、おまえ頑張ってくれよというような期待を持っているんだろうと思います。今、宮前区老人会の会員が二、三千というところなんですけれども、そういう方の中に高齢者の先頭に立ってやりましょうという気持ち、気概を持って居る方がおります。皆さんが。したがって、管理運営協議会の先頭にも立っている方、また、自治会でも役員を務めている方は大勢いらっしゃると思います。そういうように、年寄りでもやれることがあるということを自覚しながら生きがいを求め、そして日々の幸せの中で生きております。

したがって、男性で言うと、宮前区は男性の高齢者率が全国2位でございます。これは威張ってもいいことで、年寄りだからって馬鹿にするなよという気持ち。若い者と年寄りが融合し、手を握ってネットワークをつくること、これが健全な社会だと思うんです。健全な社会というのは、病んでいる社会ではなくて健全でなければいけない。それは若い人と高齢者がお互いに理解し合い、支え合い、そして助け合っていく社会こそ、私は健全な社会だと思っております。

高齢者の片隅に活かさせていただいている福田でございますけれども、ひとつフォーラムの成功を願っております。我々は若い人のために、ためにというのはおこがましいけれども道をつくりたい。息子や孫や子孫に対して恥ずかしくないような宮前区をつくりたい、このように思っています。

私は、「コスモス」という会報紙があるんですけども、この間の1月の18号には「由緒ある塚に守られ暮らす町 終の住処と定めしところ」と投区をいたしました。私は五所塚を愛し、五所塚に骨を埋めるつもりで生活をしている。そういう気持ちで皆さんがそれぞれの町で、それぞれの地域で孫にも恥ずかしくないような生き方をしようと私は思っております。

変な言葉で申し上げたところもありますけれども、御勘弁願ひまして終わらせていただきます。

黒沢副委員長 では、追加といたしますか、何でもありコーナーになってしまうと思うんですけども、環境のほうで。

野鳥のコーナーを設けたらいいと思うんですよ。パネルの展示と鳴き声で鳥の種類を当てる。覚えさせる。それがいいと思うんですよ。野鳥といたしますか、鳥は環境に非常に関連している問題でございます。

以上。

直本委員長 ありがとうございます。

大変たくさんの意見が出まして、この場でまとめることはできませんので、企画部会に持ち帰らせていただきまして、本日の御意見を踏まえてフォーラムの案を作成していきたいと思います。11月26日に企画部会が予定されておりますので、本日言い足りなかった点等がありましたら、それまでに事務局へ御連絡をお願いしたいと思いません。

いずれにいたしましても、年内にもう案を案として、フォーラムの決定事項を作成いたしまして準備に入らないと間に合わないという段階でございますので、引き続きまして委員の皆様方の御協力をお願いしたいということで、まとめにさせていただきますと思います。

それでは、本日の議事は一応以上で終了させていただきます。ありがとうございます。

事務局、引き続きお願いいたします。

司会（日下部） 大変御熱心に御議論いただきましてありがとうございます。直本委員長、ありがとうございました。

閉会の前に事務連絡をさせていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

（事務連絡）

司会（日下部） 事務連絡をさせていただきました。

3 閉 会

司会（日下部） 本日は大変長時間にわたりましてお疲れさまでございました。区民会議全体会議も残すところあと1回。あと、それと、先ほど皆さんに大変熱心に御議論いただきました区民会議フォーラムということでございます。引き続き活発な御議論、活動をお願い申し上げたいと思います。

本日はこれにて終了でございます。ありがとうございました。

午後8時15分閉会